

平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	宮崎 元良
	全体計画			経費区分	-	内線	3 2 5 4
事務事業名	4127 廃プラスチック再資源化事業						
所 属	140100 環境部・生活環境課						
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費					
	事業	040000 廃プラスチック再資源化事業					
事業目的				事業概要・効果			
廃プラスチック類容器包装、ペットボトル等のリサイクルの促進を図る。				廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図れた。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。 安全かつ安定した、プラスチック類容器の圧縮梱包処理を行うため、結束機の交換を実施した。	廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。 安全かつ安定した、ペットボトルの圧縮梱包処理を行うため、圧縮機のオーバーホールを実施する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	可燃ごみ排出量の削減（市民一人当たりの年間排出量）					単位	kg
算式						単位	kg
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	201	200	199	198	197	
	実績	203.6					
指標選定の理由	総合計画の目標値						
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値						
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		46,220	46,914
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	42,307	30,182
一般財源		3,913	16,732
人員数(人)	正規職員	0.7	0.7
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,053.3	5,053.3
	嘱託職員	826.5	826.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,879.8	5,879.8
市民一人当たりの経費		1.0	1.0
総額		52,099.8	52,793.8

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,096	修繕費
13節 委託費	43,866	有価物処理委託料、廃プラスチック収集委託料、ストックヤード管理業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	258	ペットボトル売却収入負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	300	修繕料
13節 委託費	46,014	有価物処理委託料、廃プラスチック収集委託料、ストックヤード管理業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	600	ペットボトル売却収入負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	ごみ処理（一般廃棄物）は廃棄物処理法において市町村の責任で行うものと定められており、市民が生活していくうえで必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	廃プラスチック類容器及びペットボトル等の資源化により、ごみの減量を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続きストックヤードの維持管理を民間事業者へ委託し、経費の削減を図る。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 廃プラスチック類容器及びペットボトルの適正な処理を行い、リサイクルを促進し、ごみの減量を図り、清掃センターの処理負担の軽減が図れた。 安全かつ安定した、ペットボトルの圧縮梱包処理を行うため、各シリンダーのオーバーホールを実施した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>環境基本計画、廃棄物処理計画の中間見直しを行い、更なるごみ減量、リサイクルの推進を図る。清掃センター施設維持、二酸化炭素排出量削減のためにも重要な事業である。正規職員1名を増員し、積極的な事業展開を行う必要がある</p>		<p>廃プラスチック再資源化事業を廃棄物処理基本計画に沿って進めるにあたり、民間での回収と併せてリサイクル事業として進める必要がある。処理施設の安定的な運転を行なっていくため、処理施設整備計画を行う必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	